MetaMoJi Note 企業版 Android向け技術仕様情報

- Android、Google Driveは、Google Inc.の登録商標です。
- Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です
- 本書は株式会社MetaMoJiが作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社MetaMoJiに帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。 2014年12月18日 ©2014 株式会社MetaMoJi



はじめに

- 本書では、Android上のほかのアプリとMetaMoJi Note 企業版との連携をスムーズに行うための仕様を説明してい ます。
- 連携は、Androidのインテント(Intent)機能を利用して行います。
- 本書では、以降「MetaMoJi Note 企業版」を「MetaMoJi Note」と表記します。

できること

ほかの(呼び出し元)アプリからMetaMoJi Noteを呼び出す

- MetaMoJi Noteで開くことができるファイル形式
 - PDFファイル (.pdf)
 - Microsoft Office製品のファイル(.xls、.xlsx、.doc、.docx、.ppt、.pptx)
 - ・テキストファイル (.txt)
 - ・ MetaMoJi Note 形式のファイル (.atdoc)

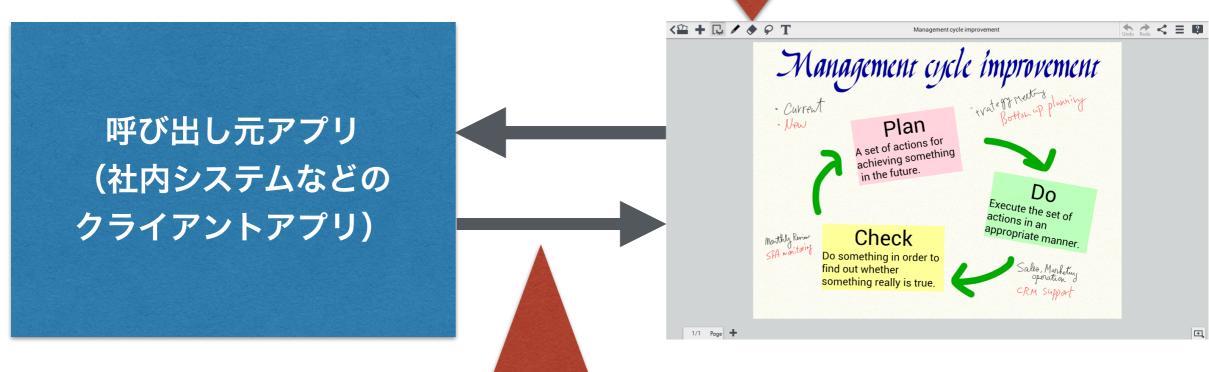
呼び出し元アプリにデータを返す

- 指定できるファイル形式
 - ・PDFファイル(.pdf)※Android 4.4以降のみ指定可能
 - ・MetaMoJi Note 形式のファイル (.atdoc)

連携イメージ

以下を指定して呼び出し元アプリを起動

- ・呼び出し元アプリのパッケージ、クラス
- ・呼び出し元アプリに返すデータ形式
- ・ローカルキャビネットにデータを保存するかしないか



API 呼び出し (Intent機能を利用) MetaMoJi Note

Intentの仕様

1. 記述手順・サンプルコード

記述手順・サンプルコード	説明
Intent intent = new Intent();	
intent.setAction("com.metamoji.note.CUSTOM_EDIT");	
intent.setClassName("com.metamoji.note_el",	
"com.metamoji.noteanytime.EntryActivity");	
intent.putExtra("srcname", "SampleApp");	呼び出し元アプリ名
intent.putExtra("sendbackapp", "com.example.sampleapp");	呼び出し元アプリを呼び出す際に使う呼び出し元アプリのパッケージ
<pre>intent.putExtra("sendbackclass", "com.example.GetFromMetamojiNoteActivity");</pre>	呼び出し元アプリを呼び出す際に使う呼び出し元アプリのクラス
intent.putExtra("sendbackformat", " pdf ");	呼び出し元アプリに返す際のデータ形式 ・atdoc: MetaMoJi Note形式 ・pdf: PDF形式 (Android 4.4以降のみ指定可能)
intent.putExtra("discard", true);	ローカルキャビネットにデータを保存するかしないかを指定 ・true:破棄する(保存しない) ・false:保存する
intent.setData(new Uri("file://"));	インポートするデータの内容をURIで記述 ・file:// ・content:// * Fileオブジェクトで渡す場合は、次のように記述できます。 intent.setData(Uri.fromFile(file));
intent.addFlags(Intent.FLAG_GRANT_READ_URI_PERMISSION);	コンテンツへのアクセス制限があるとき(上記で "content://" が設定されている場合など)に、一時的にアクセス権を許可するための設定
startActivity(intent);	

[※] MetaMoJi Noteが受け取ったデータを送り返すときは、sendbackapp, sendbackclassで指定された値で、同様に Intent 起動します。